

トイ状なので、内面登攀の要領にて登る。次の3.5mは右岸を登り、つづく小滝も軽く越える。右岸より小沢が合流した所で小休止。

しばらくは何もない所を歩く。やがて両岸が岸壁となった1.5mの小滝に続いて、いくつかの小さなナメを越えると、また滝が連続するようになる。まずはいずれも1m未満だが、5個連続する。そして2m, 8m, 3mと次々にパスする。右岸より小沢が2本合流する。この先も滝とナメが続く。途中昼食。このあたりシドキ(モミジガサ)がたくさんある。水も少なくなってきた。沢も最後は滝状のナメとなって、尾根近く、水が無くなるまで続く。12:00やおこぎに入る。15分程で尾根に出た。

(記)

出合(8:40)——沢終了(12:00)——尾根(12:15)

ワサビ沢 1982年8月15日
横川支流無名沢 L

林道工事のため出合は様相が一変していた。くずされた土砂が沢をうずめてしまっている。何と雑な林道の造り方であろうか。緑の番人を自認する営林署であるが、我々の目からみれば緑の破壊者の1人である。

沢に入るととたんにアブの襲撃。数十匹のアブがむらがってきて、雨の上からでも平気で血を吸いにかかる。50匹ほど殺したら、ようやく静かになった。

平凡な沢である。4mの滝が出てきた時には、これならと期待させたのだが、あとが続かない。ダラダラと登り、いつのまにか源頭の湿原に付いていた。

(記)

出合(8:15)——終了(10:15)

1982年8月15日
横川左楔(下降) L

10時40分下降開始。急な斜面をブツシュ

